

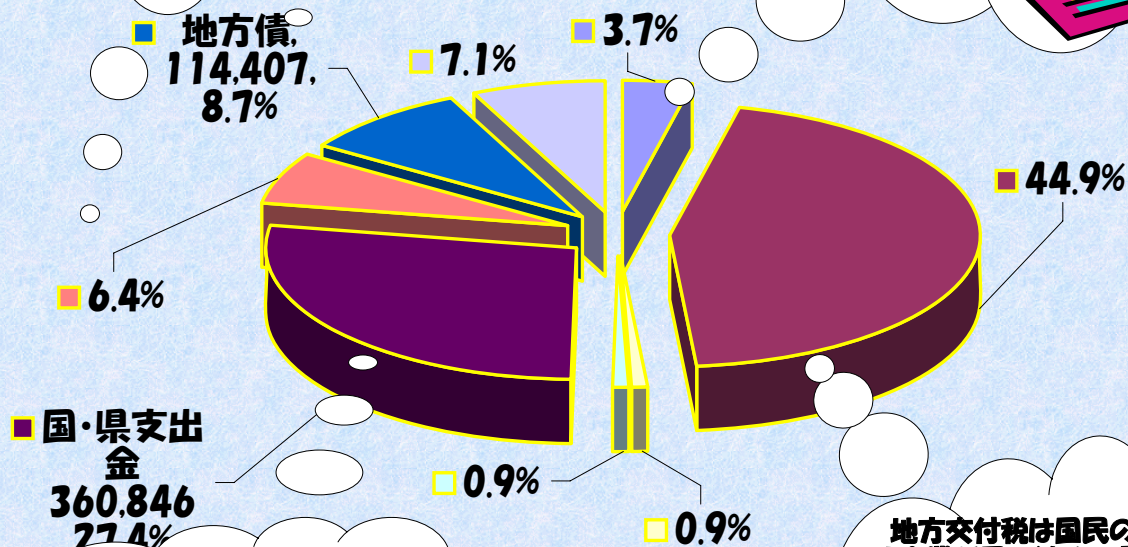
渡嘉敷村の財政状況（一般会計）

18年度一般会計 当初予算 歳入総額1,316,459千円

繰入金は、不足した財源を村の基金（定期預金）から取り崩して予算に繰入する予算です！

地方債は、歳出の投資的事業を実施する際に村負担分を国県や金融機関等から借入れて長期間に返済する資金のこと！

地方税は主に村民の皆様へ納めて頂いた村民税、法人税、固定資産税、軽自動車税です！また、たばこ税なども含まれています。自主財源で用途目的は一般財源になりますが、効率的・有効的に使わせて頂きます！



国・県支出金は、用途目的が決められていて主に歳出の投資的経費に充てられます！一般的にいう補助事業の財源になります。

地方交付税は国民の皆様や企業が国に納めて頂いた所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税の中から国が全国に平等に交付するのが交付税です！地方交付税には、普通交付税と特別交付税があり、用途目的は村の一般財源になります。

地方税	金額
村民税	21,936
固定資産税	22,128
軽自動車税	1,378
たばこ税	3,893
合計	49,335

地方交付税	金額
普通交付税	460,000
特別交付税	131,000
合計	591,000

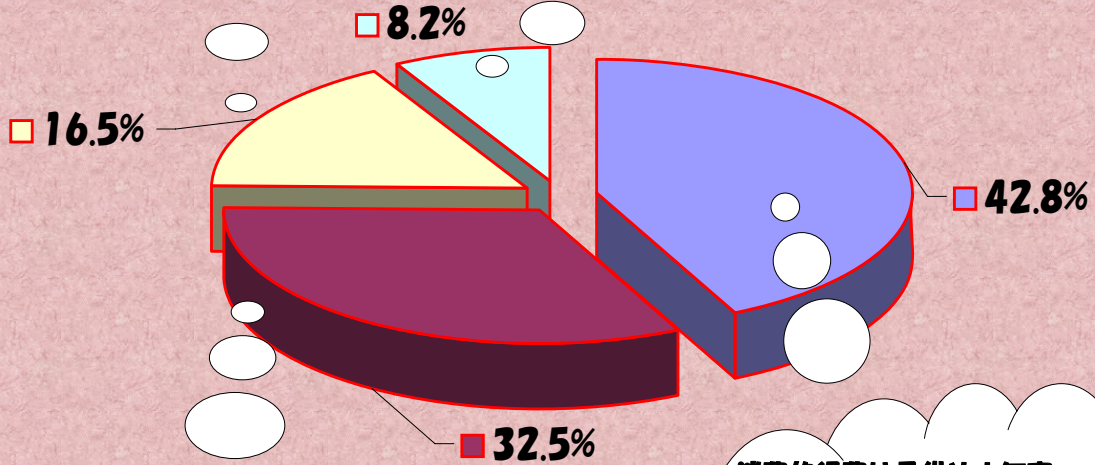
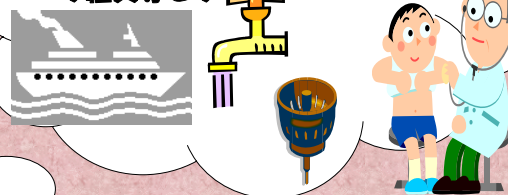
その他	金額
分担金・負担金	1,530
使用料・手数料	49,109
財産収入	11,139
寄付金	6,003
繰越金	15,000
諸収入	10,145
合計	92,926

18年度一般会計 当初予算 歳出総額 1,316,459千円

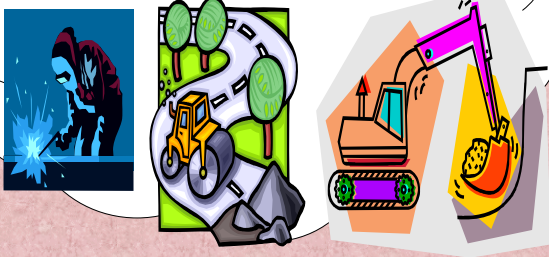
公債費は道路や建物など公共施設を作るために村が国・県金融機関から借りたお金の返済金が公債費です！



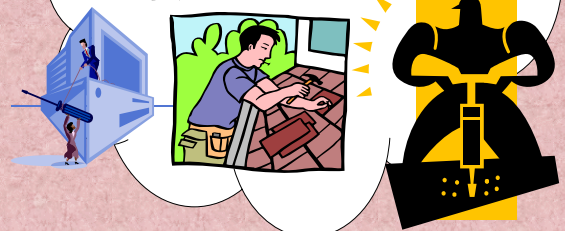
その他は特別会計（航路事業、簡易水道事業、下水道事業、国民健康保険事業、老人保健事業事業）への支援として繰り出す経費等です！



投資的経費は道路や住宅、農林水産業施設など公共施設を造るため経費です！



消費的経費は子供やお年寄りへの扶助費、各種団体への補助金や負担金、道路や学校など各公共施設の維持補修費、施設に必要な物品の購入費、職員給与、などの経費です！



消費的経費	金額
人件費	290.499
物件費	180.462
維持補修費	11.231
扶助費	19.908
補助費等	61.069
合計	563.169

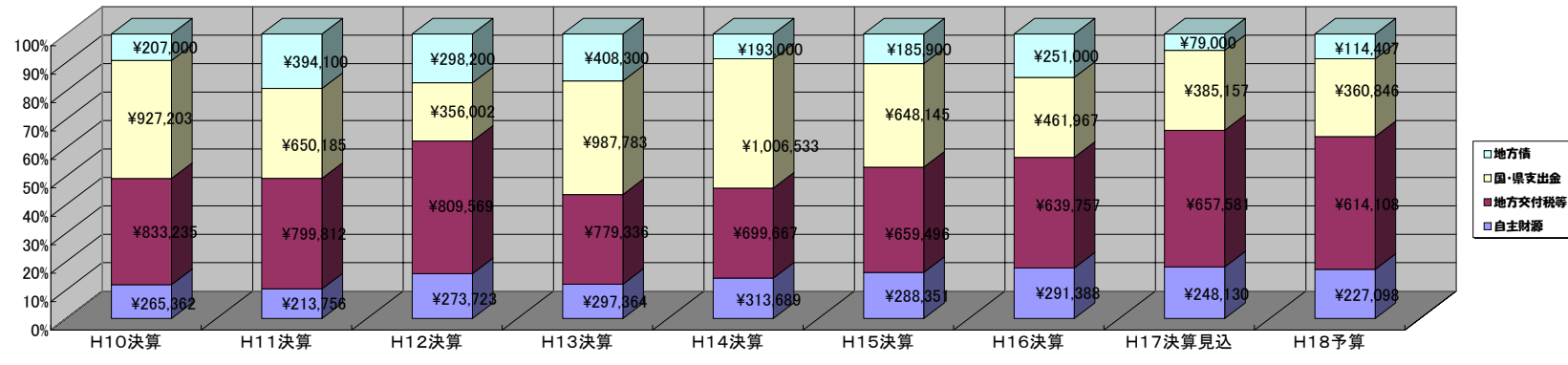
投資的経費	金額
普通建設事業	428.102
補助事業	224.230
単独事業	203.872
災害復旧事業	10
合計	428.112

その他	金額
積立金	269
投資及び出資金	400
繰出金	96.793
予備費	10.000
合計	107.462

公債費	金額
元金	180.593
利子	37.123
合計	217.716

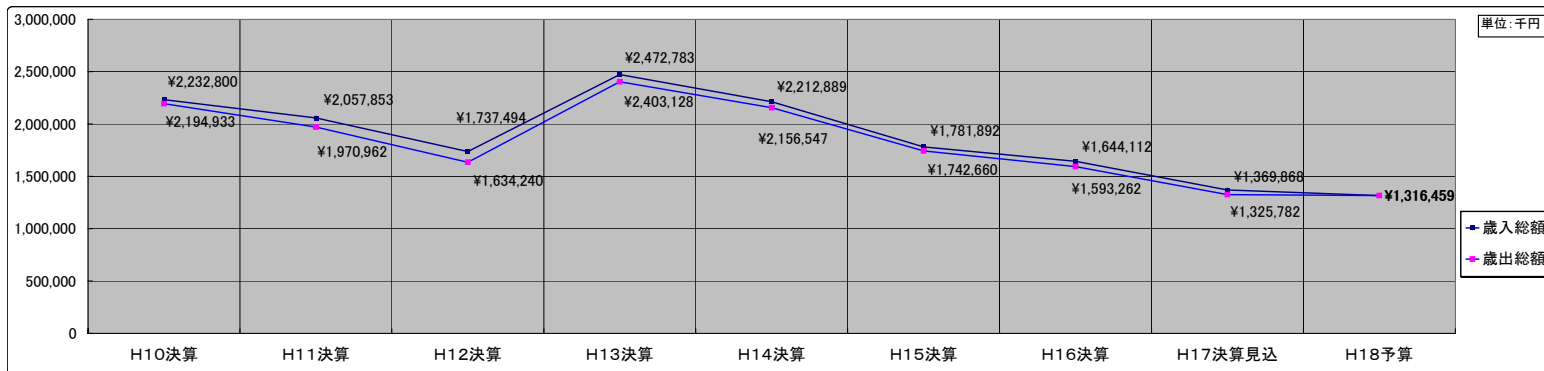
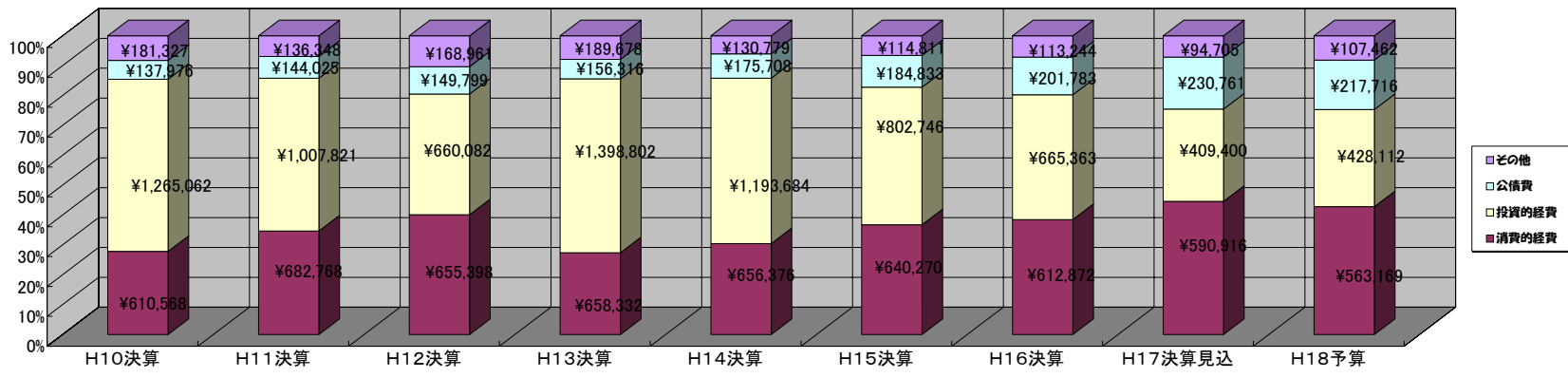
平成10年度～18年度 歳入決算の推移

単位:千円



平成10年度～18年度 歳出決算の推移

単位:千円



平成18年度の自主財源は歳入全体のわずか17.3%で国からの地方交付税(44.9%)に頼っている状況であるが、国の三位一体改革が実施されて地方交付税が減少傾向にある近年は毎年の予算編成において歳出削減を余儀なくされています。

村の財政運営については、これまで、村行政改革大綱に基づき、実施計画を策定し積極的に行政改革に取り組んできたところですが、平成18年度当初予算編成についても、収入役の廃止、特別職給与10%減額、職員給与3.4%減額など人件費の減額、旅費の減額、賃金の減額、各種団体補助金の減額などの行政改革を実施しても基金を取り崩して予算編成せざるを得ない状況であるが、その基金も残高があとわずかとなり危機的な財政事情となっております。

このような状況下では、行政改革の最大の効率化である市町村合併については、今後、村行政の重要課題として模索して行く必要があると思います。